

共生 生命教育



小学校中学年以上

中学校

道徳

総合

みんな生きています 15分

みんなでいっしょに奏でよう (2006年放送)

この番組の良さ



いっしょにやりとげる

中学1年生の北村直也君は、生まれつきほとんど目が見えません。点字の教科書を使い、パソコンを使ってノートをとっています。そして、なんにでも挑戦したい直也君はブラスバンド部に入部します。一人だとさみしいが、みんなといっしょだと楽しい。そんな直也君の音楽に取り組む姿勢から、仲間とともにやりとげるすばらしさを、学ぶことができます。

特別支援教育への理解のために

「たくさんの友だちがいる学校が大好きです。」この言葉の意味をしっかりととらえ、ともに学び、ともに悩み、お互いに補い、助け合い、支え合うことの大切さを、教師サイドではなく、子ども同士の視点から学ぶことができる番組です。

番組活用のポイント

前向きに生きるために

学級の子どもたちの中には、失敗を恐れたり、困難なことを避けたりする傾向にある子どもがいます。また、中には、なかなか集団生活になじめない子どももいます。この番組を視聴することにより、物事を前向きに考え、困難に打ち勝つことの難しさや大切さ、みんなで一緒に活動することの楽しさについて、前向きに考えることができます。

実体験を通して

この番組を視聴する前、または視聴後に、関連学習として、点字の学習やアイマスク体験を行うとよいでしょう。目が不自由だと何もできないと思込んでいる子どもが多いですが、実体験をとおして、目が不自由でもできることはたくさんあると気づかせるよう心がけます。そして、同時に不便なことにも気づかせ、自分にできるお手伝いを考えていきます。また、目の不自由な人と接するときのマナーについても学習するとよいでしょう。

より発展的に

班に分かれて行う、音楽発表会や総合的な学習の発表会などの前に、本番組の視聴を試みるのもよいでしょう。この番組は、一人ひとりの個性を大切に、仲間とともにやりとげることの大変さや、すばらしさを教えてくれます。そして、壁にぶつかったときに、どう乗り越えていけばよいかを、子どもたちの視点から考えていくとよいでしょう。

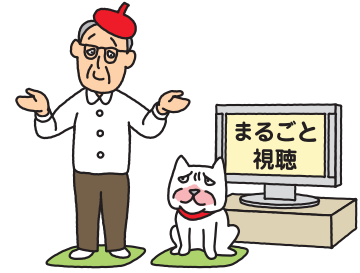
また、学校や町の中のバリアフリーについて調べてみるのもよいでしょう。そして、誰もが暮らしやすい環境にするには、どうすればよいかについて考えてみましょう。





(溝内正剛)

学習展開例

授業時間 45分

ノーマライゼーションの観点から 仲間との関わりで学ぶこと



時間配分	学習活動	教師の支援
5分	<p>①本時までには、点字の学習や、アイマスク体験などを行っていただければ、体験を通して思ったこと、感じたことを発表する。</p> <p>②体験を行っていただければ、5分程度で簡単に白い杖のことや点字についての説明を聞き、必要性について考える。</p>	<p>○目が不自由なことに対するマイナス面ばかり取り上げないように気をつける。</p> <p>○白い杖についての説明や、点字はどういった人のためにあるのか、どうやって点字を読み取るのかについて、学習を行う。</p>
25分	<p>③番組を視聴しながら考える。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>視聴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目がほとんど見えない北村直也君が、近所の学校で生活を送っている場面 (開始～2分38秒) </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・直也君がブラスバンド部に入部した場面 (2分38秒～6分27秒) </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・シンバルをたたくタイミングがつかめない直也君と、ブラスバンド部のメンバーの場面 (6分27秒～9分09秒) </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・一緒に知恵を出しながら、タイミングをつかむ直也君と、演奏を終えた感想の場面 (9分09秒～終わり) </div> </div>	<p>○開始から2分38秒の「何でもやってみることを心がけています。」のナレーション後、一時停止し、直也君の学校生活についての感想や、がんばっていること、また、困っていることについて、子どもたちに意見を聞く。</p> <p>○6分27秒で一時停止し、ブラスバンド部に入った理由や、家族のこと、目の不自由な人のための学校ではなく、近所の学校へ通わせようと思った、両親の願いや思いについて、考えながら視聴するよう話す。</p> <p>○9分09秒で一時停止し、どうすれば直也君がシンバルをたたくタイミングがつかめるのか考えさせ、意見を発表させる。</p> <p>○仲間とともに一つのことをやりとげる大切さや難しさ、直也君が演奏を終えた後に流した涙の意味について、考えながら視聴するよう話す。</p>
10分	<p>④番組視聴後、感想を話し合い、意見をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体が不自由なことに対する意見や、支援の仕方について話し合う。 ・なぜ、直也君の両親は近くの学校に通わせたかについて話し合う。 ・仲間とともに、一つのことをやりとげるすばらしさについて考える。 <p>・演奏終了後、直也君が流した涙の意味について考える。</p>	<p>○ひとりではできること、また、ひとりではできないことについて考えさせる。</p> <p>○ノーマライゼーションの観点から考えるよう支援する。</p> <p>○教師主体ではなく、友だちで同士で知恵を出し合い、考え、工夫するすばらしさについて考えさせる。また、苦難を乗り越えてこそできるといった同級生の思いについても考えさせる。</p> <p>○一つのことをやりとげる意味や、ひとりではなく、仲間とともにがんばったことに目を向けさせる。</p>
5分	<p>⑤学習のまとめとふり返り、また、発展学習の計画を行う。</p>	<p>○視聴後、発表会などを予定している場合は、その計画について話し合う。</p> <p>○発表会などを予定していない場合は、視聴した感想や、これからの自分について書かせる。</p>